「薬剤総合評価調整加算（退院時1回）の算定数向上に向けて」に関する研究

1. 研究の対象

2016年4月～2017年11月の期間に当院を退院、退院時に内服薬が減量となり、薬剤減量に関わる算定を受けた方

2. 研究目的・方法

薬剤総合評価調整加算（退院時1回）とは、入院前に6種類以上の内服薬（入院時において当該患者が処方されている内服薬のうち、頓用薬および服用を開始して4週間以内の薬剤を除く。）が処方されていたものについて、処方内容を総合的に評価したうえで調整し、当該患者の退院時に処方される内服薬が2種類以上減少した場合、退院時に1回に限り250点が算定できるものである。

過去の算定事例から、算定対象となった薬剤の比率などを後ろ向きに調査し、他施設からの報告などと比較、当院での減薬の傾向を考察する。

3. 期間

承認日～2017年11月30日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報：年齢・性別、退院時の診療科、主治医カルテ情報、算定時に減量・増量された薬剤

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 薬剤部 薬剤師 石野 陽一

-----以上